

駒工ロボ研の安藤さんと中島さん 初の全国大会へ



ジャパンマイコンカーラリー全国大会に出場する安藤幹人さん(左)と中島駿さん(右)

マイコンカーラリー 「上級」北信越代表

駒ヶ根工業高校(駒ヶ根市)のロボット研究製作部の安藤幹人さん(工業科1年16)と中島駿さん(情報技術科2年16)が、高校生が独自製作したマイコンボード搭載マシンで走行タイムを競う「ジャパンマイコンカーラリー全国大会」(8、9日、広島県)のAdvanced(上級)クラスに北信越代表として出場する。ともに初めて臨む全国舞台に「強豪と勝負できる貴重な機会。大会での経験を成長の糧にしたい」と心躍らせている。(寺田英祥)

コース上のラインを、車体フヤクラシットなどを交えた1に搭載されたセンサーが読み取り、周51分のコースが設定され、取って自走する仕組み。北信越大会(昨年10月、石川県)が12秒02で3位、中島さんの上級クラスでは、S字カーが12秒13で4位となり、全国

長野日報
Nagano Nippo

ご購入ありがとうございます

1月6日(木)

発行所 長野日报社
〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000(代)
©長野日报社2022

大会への出場権を得た。全国の舞台では、地区予選を勝ち抜いた強豪校から74台が出場予定。同校も13年連続の出場となる常連校だけに、部長を務める中島さんの気合は十分。カーブ時のコースアウト回避や車体の軽量化に対応するため、プログラミングや車体の改良を進めてきた。「貴重な機会。支えてもらった先輩たちの思いを背負って挑み、優勝を目指したい」と意欲を見せる。

安藤さんは車体を丹念に加工し、安定走行できるマシンを仕上げた。カーブを曲がり切った後の加速を課題に、タイヤの太さなどを調整しながら試走を重ねる。他校のマシンを見て、全国レベルを体感できるのが楽しみ。ベストの走りを目指したいと目を輝かせている。